

令和5年度におけるゼロカーボンの取組の概要について

十勝地域ゼロカーボン推進室

1 地域を取り巻く現状・課題と取組の方向性

現状・課題

ロシアのウクライナ侵略
新型コロナウイルスの影響
食料安全保障
エネルギー問題
地球温暖化対策

十勝における取組の視点（十勝地域政策展開方針）

- たくましく力強い農林水産業の展開と関連産業の推進
- 十勝の有する豊富な地域資源を最大限活用した取組の推進
- 地域の脱炭素化の推進と未来技術を活かした地域づくり
- 安全安心にいきいき暮らせる地域社会の形成

2 ゼロカーボン関連の取組を進める上でのポイント

- ▶ 十勝地域ゼロカーボン推進室の体制を基本に、組織横断的な連携を図り、一体的に推進していく。
- ▶ 地域の民間企業、研究・教育機関や市町村など、多様な主体との連携を図る。
- ▶ 各種メディアとの連携や SNS の活用など効果的に情報を発信する。

3 地域政策推進事業「十勝ゼロカーボン推進事業」の概要

(1) 「ゼロカーボン北海道」に資するための省エネ・再生可能エネルギー促進事業

(675 千円) 【商工労働観光課】

<ポイント>

- ▶ 地域の優位性を発揮するバイオマスや太陽光などの再生可能エネルギーの活用促進
- ▶ 地域の脱炭素化のため、道民・事業者の行動変容の促進
- ▶ 次世代自動車の導入の促進

(具体的な取組)

- 再生可能エネルギー普及拡大に伴うゼロカーボン対応経営セミナーの開催 (R5.5.18 実施済)
- 帯広高等技術専門学院と連携し「親子で学ぶ再生可能エネルギー教室」の開催 (R5.7.30 予定)
- 「次世代自動車研究会」における各種調査・研究や啓発活動の実施 (稼働時の消費電力データの収集・啓発活動の実施、市町村における EV 公用車導入支援)
- 大規模需要家における推進人材育成のための専門人材の派遣

(2) 十勝農業イノベーション加速化事業 (1,237 千円) 【農務課】

<ポイント>

- ▶ 先進事例の共有による、スマート農業技術の導入推進

(具体的な取組)

- スマート農業技術の導入に向けた現地実証会の開催 (今後、導入が期待される可変施肥技術の検証)
- 関係機関と連携し、スマート農業技術情報を発信 (意見交換会等の開催)

(3) オール十勝・森と木のゼロカーボン普及啓発事業 (1,032 千円) 【林務課・森林室】

<ポイント>

- ▶ **木育の推進により、吸収源対策における森林の重要性の理解を促進**
- ▶ **木質バイオマスの理解促進により、再生可能エネルギーの活用加速**

(具体的な取組)

- 「**オール十勝・森と木のゼロカーボン**」を標語にした普及啓発の展開
 - ・植樹体験から吸収量の見える化を実感する植樹体験会の実施
 - ・帯広競馬場にて、木質バイオマス燃料ストーブの展示・実演のほか、木質バイオマスにちなんだ木育体験などを行う「木の暖房フェスタ」を開催
- 工事等で発生する道有林の支障木を販売し、暖房用木質バイオマス向け活用する。

(4) とかち「ゼロカーボン」ネットワーク連携・普及促進事業 (1,591 千円) 【環境生活課】

<ポイント>

- ▶ **「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた再生可能エネルギーの活用加速**
- ▶ **地域の脱炭素化のため、道民・事業者の行動変容の促進と吸収源対策の推進**
- ▶ **地域資源を活かしたまちづくりや個性あふれる地域づくりを進める市町村への支援強化**

(具体的な取組)

- 地域の各主体が交流するネットワーク「**とかちゼロカーボン CLUB**」の結成
- 「ゼロカーボン行動 十勝宣言」の取組の輪を広げるための情報発信の強化
- テーマや課題別に参集し自由な意見交換や交流を図る「とかちゼロカーボン塾」の開催
- 「とかちゼロカーボン通信」の発行や SNS を活用した情報発信
- 市町村が取り組む脱炭素化の促進に向けた積極的支援
- 「CO2 見える化アプリ (本庁事業)」を活用した一般向け普及啓発の実施

4 脱炭素化に向けた振興局自らの取組

- 「十勝地域ゼロカーボン推進室」による一体的な取組の推進
- 公用水素・電気自動車を活用した次世代自動車の普及啓発
 - ・稼働時データの収集 (再掲)
 - ・各種イベントや防災訓練等での活用
- 職員の行動変容に向けた率先行動の実施 (職員提案からの行動実践)
- ゼロカーボンマイスターによる所属単位での取組強化
- 庁舎の緑化活動やゼロカーボンコーナーの設置による「見える化」の促進
- 振興局庁舎における再エネ設備や次世代自動車の導入
- 「ノーカーデーとかち」の取組推進 (公共交通の利用促進とゼロカーボン行動の呼びかけ)



5 十勝総合振興局地域農業・農村振興推進室の取組

【農務課・調整課・整備課（耕地出張所含む）・十勝農改】

<ポイント>

- ▶ 化学肥料の使用量削減を目指し、有機質肥料として消化液の有効活用を促進
- ▶ 関係機関や団体と連携し、管内で散布実証等を実施
- ▶ 得られた実証結果をとりまとめた冊子を活用し、関係機関、農業者等へ理解の促進

(具体的な取組)

- 管内バイオガスプラント48基の消化液の活用及び処理状況の実態把握
- 消化液の研究、実証などに関する情報収集
 - ・研究機関などから既存の研究成果等を収集
- 有機肥料としての消化液活用に向けた課題抽出と解決策の検討
 - ・土壌調査に基づく作物ごとの適正な散布量や散布時期
 - ・消化液の活用による化学肥料の削減
 - ・土壌物理性に与える影響 など
- 関係機関や団体との連携により実証試験の実施
 - ・十勝総合振興局（農務課・十勝農改・調整課・整備課・耕地出張所）、道総研十勝農試、畜試、十勝農協連 など
- 消化液の活用に関する技術の普及
 - ・マニュアル（実証の成果を取りまとめたもの）の作成
 - ・営農指導の中で技術普及 など

※（具体的な取組）は、修正の可能性有り